

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
地理歴史	地理総合	2単位	1		
教科書	地理総合 世界に学び地域へつなぐ(二宮書店)				
副教材等	高等地図帳(二宮書店)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1)地理に関わる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性や地球的課題への取り組みを理解すると共に、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる能力を技能を身に (2)地理に関する事象の意味や意義、特色や相互の関係を多面的・多角的に考察したり課題の解決に向けて構想したりする力や、構想・考察したことを効果的に説明したり議論したりする (3)地理に関わる諸事情について、課題を主体的に追求し解決する態度を養うと共に、日本国民としての自覚や国土に対する愛情、世界の諸地域の生活文化を尊重することに対する自覚					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
<ul style="list-style-type: none"> 様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解できているか。 地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性について理解できているか。 様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、収集しまとめる基礎的な技能を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現できているか。 地図や地理情報システムについての目的や用途、内容、適切な活用方法などを多面的・多角的に考察し、表現できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題等への取り組み状況、提出物の提出状況や内容。 ペアワークやグループワーク等への参加に対する状況。
<ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の特色ある生活文化が多様性をもちことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解できているか。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題等への取り組み状況、提出物の提出状況や内容。 ペアワークやグループワーク等への参加に対する状況。
<ul style="list-style-type: none"> 地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解できているか。 地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることを理解できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題等への取り組み状況、提出物の提出状況や内容。 ペアワークやグループワーク等への参加に対する状況。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	資料や統計をしっかりと読み取った上で、学習内容の基本知識がしっかりと身についている。	学習内容の基本事項が身についている。	学習内容の基本事項が身につけていない。
②思考力 表現力	学習内容について、現状を捉えながら建設的な意見をしっかりと考察し、表現できている。	学習内容について、自らの意見について考察し、表現できている。	学習内容に関する自らの意見を考察し、表現できない。
③学びに向かう力	ワークシートを実施する際に工夫の跡が見られ、ペアワーク・グループワーク時に建設的な意見を述べている。	ワークシート・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組んでいる。	ワークシート・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組むことができない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4月 5月 6月	地図とGISの活用	<ul style="list-style-type: none"> 緯度や経度についての基本知識や違いによる特徴 時差が発生するしくみと計算 様々な図法の違いと使用目的 国の範囲と現代世界の領土問題 日本の領域と領土問題 進む世界の結びつき(観光・貿易・地域連携)の動向 GISの基本知識とその活用方法 	18	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 学習に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 調べ学習に積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 現代世界の領土問題や日本の領土問題について、現状を捉えながら自らの考えをまとめ、表現できているか【思考力・表現力】 地図や地理情報システムについての目的や用途、適切な活用方法などを考察し、表現できているか【思考力・表現力】 時差の計算を正しく行えるか【知識・技能】 地図や地理情報システムの役割や有用性について理解し、収集する技能が身につけているか【知識・技能】 各学習内容の基本知識が身につけているか【知識・技能】
6月 7月 8月 9月 10月 11月	生活文化の多様性と国際理解	<ul style="list-style-type: none"> 様々な地形の成り立ちとその地域の生活の特徴 様々な気候の成り立ちとそれぞれの気候による生活の違いの特徴 世界の農業の分類と農業の実例 世界の工業形態の分類と工業化が伸張した国の様子 様々な宗教の特徴と各宗教徒の生活の様子 多文化社会を実現する国の実例 EU結成によるヨーロッパの産業や生活の変化と課題 アメリカの変化と課題 	40	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 学習に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 調べ学習に積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 地形や気候の違いによる世界の各地域の人々の生活の違いについて考察し、表現できているか【思考力・表現力】 様々な宗教や文化の違いについて捉えながら、共生するための方策について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 資料や統計をもとに、EUやアメリカの現状や課題について捉えることができるか【知識・技能】 各学習内容の基本知識が身につけているか【知識・技能】
12月 1月 2月 3月	地球的課題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> 人口食料問題の現状・対策・課題 都市居住問題の現状・対策・課題 事件エネルギー問題の現状・対策・課題 様々な環境問題の現状・対策・課題 	12	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 学習に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 調べ学習に積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 様々な地球的課題とその対策について考察し、表現できている【思考力・表現力】 資料や統計をもとに、様々な地球的課題の現状について捉えることができるか【知識・技能】 各学習内容の基本知識が身につけているか【知識・技能】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
地理歴史科	歴史総合	2単位	1年次		
教科書	高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来(第一学習社)				
副教材等	使用無し				
① 科目の目標(学習指導要領)					
<p>(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
近代化の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその日本を広く相互的な視点から捉え、現代的な課題の形成に関わる近現代の歴史を深く理解しており、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時代や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史上の課題を把握し解決に向けて構想したり、考察・構想したことを様々な方法で効果的に説明したり、それらを元に議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、未来を担う者としての自覚を持ち、よりよい社会の実現のために課題を主体的に追究・解決しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	学習内容を十分に理解し、教師等他者の助言や仲間との協議を経ながら意欲的に課題に取り組むことができる	学習内容の基礎・基本となる点を理解し、教師等他者の指導のもと、課題に取り組むことができる	学習内容の基礎・基本となる点を十分理解できず、課題への取り組みも消極的である。
②思考力 表現力	事象について多面的・多角的に考察したり、課題解決に向けて教師等他者の協力や仲間との協議を経ながら具体的に構想し、考察・構想したことを根拠を示しながら方法を工夫して効果的に説明したり、それらを元に議論したりすることができる	事象について多面的・多角的に考察したり、課題解決に向けて教師等他者の支援を得ながら構想し、考察・構想したことを説明したり、それらを元に議論したりすることができる	事象について多面的・多角的に考察することができず、教師等他者の支援を得ても、考察・考察したことを説明したり、それらを元に議論することができない
③学びに向かう力	諸事象について、教師等他者の協力や仲間との協議を経ながら、よりよい社会の実現を目指し、課題を主体的に追究・解決しようとするとともに、自らの学習を振り返り、改善点を把握し、次の学習につなげようとしている	諸事象について、教師等他者の支援を得ながら、課題を主体的に追究・解決しようとしている	諸事象について、教師等他者の支援を得ても、課題を主体的に追究・解決しようとすることができない

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4 5	A 歴史の扉 B 近代化と私たち	歴史と私たち 歴史と資料 近代化への問い 18世紀までの社会	8	○	○	○	私たちの生活と歴史が繋がっていることを理解している【知識・技能】 資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。【知識・技能】 近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。【思・判・表】 18世紀までの社会の様子について理解している【知識・技能】
6 7	B 近代化と私たち	工業化と世界市場の形成 国民国家と立憲体制 帝国主義とアジア・アフリカの変容 近代化に関する現代的な事象	15	○	○	○	工業化と世界市場の形成、国民国家と立憲体制、帝国主義とアジア・アフリカの変容について理解している。【知識・技能】 工業化と世界市場の形成、国民国家と立憲体制、帝国主義とアジア・アフリカの変容について多面的・多角的に考察し、表現している。【思・判・表】 近代化に伴う生活や社会の変容及び現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史について、課題を主体的に追究しようとしている。【態度】 自らの学習を振り返り、改善点を把握し、次の学習に繋げようとしている。【態度】
8 9 10	C 国際秩序の変化 や大衆化と私たち	国際秩序の変化や大衆化への問い 第一次世界大戦と国際社会 1920年代の世界と大衆の時代の到来 国際協調の挫折と二度目の世界大戦 世界大戦がもたらしたもの	19	○	○	○	国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。【思・判・表】 第一次世界大戦と国際社会、1920年代の世界と大衆の時代の到来などについて理解している。【知識・技能】 第一次世界大戦と国際社会、1920年代の世界と大衆の時代の到来などについて多面的・多角的に考察し、表現している。【思・判・表】 自らの学習を振り返り、改善点を把握し、次の学習に繋げようとしている。【態度】
11 12	C 国際秩序の変化 や大衆化と私たち D グローバル化と 私たち	世界大戦がもたらしたものの 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 グローバル化への問い 冷戦と国際政治 世界経済の拡大と日本	15	○	○	○	国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容及び、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史について、課題を主体的に追究しようとしている。【態度】 自らの学習を振り返り、改善点を把握し、次の学習に繋げようとしている。【態度】 グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。【思・判・表】 冷戦と国際政治、世界経済の拡大と日本について理解している。【知識・技能】
1 2 3	D グローバル化と 私たち	市場経済の変容と冷戦の終結 冷戦終結後の世界 現代の諸課題とグローバル化	13	○	○	○	市場経済の変容と冷戦の終結、冷戦終結後の世界について理解している。【知識・理解】 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 グローバル化に伴う生活や社会の変容について、課題を主体的に追究しようとしている。【態度】 持続可能な社会の実現を視野に入れ、課題を主体的に追究、解決しようとしている。【態度】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
地理歴史科	歴史総合	2単位	1年次		
教科書	高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来(第一学習社)				
副教材等	使用無し				
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
近代化の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視点から捉え、現代的な課題の形成に関わる近現代の歴史を深く理解しており、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時代や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史上の課題を把握し解決に向けて構想したり、考察・構想したことを様々な方法で効果的に説明したり、それらを元に議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、未来を担う者としての自覚を持ち、よりよい社会の実現のために課題を主体的に追究・解決しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	学習内容を十分に理解し、教師等他者の助言や仲間との協議を経ながら意欲的に課題に取り組むことができる	学習内容の基礎・基本となる点を理解し、教師等他者の指導のもと、課題に取り組むことができる	学習内容の基礎・基本となる点を十分理解できず、課題への取り組みも消極的である。
②思考力 表現力	事象について多面的・多角的に考察したり、課題解決に向けて教師等他者の協力や仲間との協議を経ながら具体的に構想し、考察・構想したことを根拠を示しながら方法を工夫して効果的に説明したり、それらを元に議論したりすることができる	事象について多面的・多角的に考察したり、課題解決に向けて教師等他者の支援を得ながら構想し、考察・構想したことを説明したり、それらを元に議論したりすることができる	事象について多面的・多角的に考察することができず、教師等他者の支援を得ても、考察・考察したことを説明したり、それらを元に議論することができない
③学びに向かう力	諸事象について、教師等他者の協力や仲間との協議を経ながら、よりよい社会の実現を目指し、課題を主体的に追究・解決しようとするとともに、自らの学習を振り返り、改善点を把握し、次の学習につなげようとしている	諸事象について、教師等他者の支援を得ながら、課題を主体的に追究・解決しようとしている	諸事象について、教師等他者の支援を得ても、課題を主体的に追究・解決しようすることができない

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4 5	A 歴史の扉 B 近代化と私たち	歴史と私たち 歴史と資料 近代化への問い 18世紀までの社会	8	○	○		私たちの生活と歴史が繋がっていることを理解している【知識・技能】 資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。【知識・技能】 近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。【思・判・表】 18世紀までの社会の様子について理解している【知識・技能】
6 7	B 近代化と私たち	工業化と世界市場の形成 国民国家と立憲体制 帝国主義とアジア・アフリカの変容 近代化に関する現代的な事象	15	○	○	○	工業化と世界市場の形成、国民国家と立憲体制、帝国主義とアジア・アフリカの変容について理解している。【知識・技能】 工業化と世界市場の形成、国民国家と立憲体制、帝国主義とアジア・アフリカの変容について多面的・多角的に考察し、表現している。【思・判・表】 近代化に伴う生活や社会の変容及び現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史について、課題を主体的に追究しようとしている。【態度】 自らの学習を振り返り、改善点を把握し、次の学習に繋げようとしている。【態度】
8 9 10	C 国際秩序の変化 や大衆化と私たち	国際秩序の変化や大衆化への問い 第一次世界大戦と国際社会 1920年代の世界と大衆の時代の到来 国際協調の挫折と二度目の世界大戦 世界大戦がもたらしたもの	19	○	○	○	国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。【思・判・表】 第一次世界大戦と国際社会、1920年代の世界と大衆の時代の到来などについて理解している。【知識・技能】 第一次世界大戦と国際社会、1920年代の世界と大衆の時代の到来などについて多面的・多角的に考察し、表現している。【思・判・表】 自らの学習を振り返り、改善点を把握し、次の学習に繋げようとしている。【態度】
11 12	C 国際秩序の変化 や大衆化と私たち D グローバル化と 私たち	世界大戦がもたらしたもの 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 グローバル化への問い 冷戦と国際政治 世界経済の拡大と日本	15	○	○	○	国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容及び、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史について、課題を主体的に追究しようとしている。【態度】 自らの学習を振り返り、改善点を把握し、次の学習に繋げようとしている。【態度】 グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。【思・判・表】 冷戦と国際政治、世界経済の拡大と日本について理解している。【知識・技能】
1 2 3	D グローバル化と 私たち	市場経済の変容と冷戦の終結 冷戦終結後の世界 現代の諸課題とグローバル化	13	○	○	○	市場経済の変容と冷戦の終結、冷戦終結後の世界について理解している。【知識・理解】 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 グローバル化に伴う生活や社会の変容について、課題を主体的に追究しようとしている。【態度】 持続可能な社会の実現を視野に入れ、課題を主体的に追究、解決しようとしている。【態度】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
公民	公共	2単位	2	必修	
教科書	公共(実教出版)				
副教材等	なし				
① 科目の目標(学習指導要領)					
人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
現代社会の仕組みや国内及び国際的な課題について深く理解しており、諸資料から様々な情報を得て適切に判断することができる。	現代社会の仕組みや国内及び国際的な課題について深く考え、文章や資料等で分かりやすく表現することができる。	現代社会の仕組みや国内及び国際的な課題について自ら追求しようとする意識を持ち、授業や課題に取り組んでいる。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	学習内容を十分に理解し、適切な判断ができています。	学習内容の基礎・基本となる点を理解し、教師等他者の指導のもと、判断ができています。	学習内容の基礎・基本となる点を十分理解できず、適切な判断もできません。
②思考力 表現力	学習内容に関して、多面的・多角的に考察したり課題解決に向けて構想したことを、自らの言葉で効果的にまとめ、文章や資料で表現することができます。	学習内容に関して、考察・構想したことを自らの言葉でまとめ、文章や資料で表現することができます。	学習内容に関する自らの意見を考察し、文章や資料で表現することができません。
③学びに向かう力	ワークシートや課題を実施する際に工夫の跡が見られ、ペアワーク・グループワーク時に建設的な意見を述べています。	ワークシートや課題・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組んでいます。	ワークシートや課題・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組むことができません。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4月 5月	民主国会における基本原則	民主政治の成立 民主政治の基本原則 民主政治のしくみと課題 世界の主な政治制度	7	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができていますか【知識・技能】 ・民主政治の基本的原理と各政治体制の特徴についての基本知識が身についているか【知識・技能】
5月 6月 7月 8月	日本国憲法の基本的性格	日本国憲法の成立 日本国憲法の基本的性格 自由に生きる権利 平等に生きる権利 社会権と参政権・請求権 新しい人権 人権の広がりや公共の福祉 平和主義とわが国の安全 こんにちの防衛問題	25	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができていますか【知識・技能】 ・日本国憲法における基本的人権の保障、及び平和主義と防衛問題についての基本知識が身についているか【知識・技能】
9月 10月 11月	日本の政治機構と政治参加	政治機構と国会 行政権と行政機能の拡大 公正な裁判の保障 地方自治と住民福祉 政党政治 選挙制度 世論と政治参加	16	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができていますか【知識・技能】 ・日本の政治制度やその課題についての基本知識が身についているか【知識・技能】
11月 12月	国際政治の動向と課題	国際社会と国際法 国際連合と国際協力 こんにちの国際政治 人種・民族問題 軍拡競争から軍縮へ 国際平和と日本の役割	12	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができていますか【知識・技能】 ・国際政治の仕組みや課題、様々な人種・民族問題についての基本知識が身についているか【知識・技能】
1月 2月 3月	国際経済の動向と課題	貿易と国際収支 外国為替市場のしくみ 第2次世界大戦後の国際経済 地域的経済統合の進展 国際経済のつながりと課題 発展途上国の初回代と日本の役割	10	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができていますか【知識・技能】 ・国際経済の仕組みや課題についての基本知識が身についているか【知識・技能】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
地理・歴史	日本史探究	3単位	2年次	B	
教科書	詳説日本史(山川出版社)				
副教材等	なし				
① 科目の目標(学習指導要領)					
日本の歴史の諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解するとともに、様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。また、日本の歴史に関わる事象の意味や文化の特色などを多角的に考察し、構想したことを説明したり議論したりする力を養う。					

評価の観点

①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③学習に向かう力
・日本の歴史の諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解することができる。 ・日本の歴史に関する様々な情報を適切に調べることができる。	・日本の歴史に関わる事象の意味や文化の特色などを多角的に考察することができる。 ・日本の歴史の諸事象について、構想したことを説明したり議論したりすることができる。	・課題などへの取り組み状況 ・提出物の提出状況とその内容 ・グループワークなどへの参加状況

上記の観点を以下の基準で評価します。(達成率に基づき3段階に評価。成績は5段階評定)

	評価Aとなること(80%以上)	評価Bとなること(30%以上)	評価Cとなること(30%未満)
①知識・技能	学習内容について資料などを読み取り、学習内容の基本知識が十分に身についている。	学習内容について基本事項が概ね身についている。	学習内容の基本事項が身につけていない。
②思考力・判断力・表現力	学習内容について、現状を客観的に捉えながら建設的に考察し、表現することができる。	学習内容について、自ら考察し表現することができる。	学習内容について、考察・表現することができない。
③学習に向かう力	ノートやワークシートの取り組みに工夫の跡が見られ、ペアワーク・グループワークに積極的に参加している。	授業内の諸活動に意欲的に取り組んでいる。	授業に対して参加する意欲がない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4	第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳と大和政権	・文化の始まり ・農耕社会の成立(古墳文化の展開) ・飛鳥の朝廷	8	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・日本列島の自然環境がどのように変化し、人々の生活や文化にどのような影響を与えたか理解する【知識・技能】 ・ヤマト政権と古墳、ヤマト政権と大陸の関係性について、考察し表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
	第3章 律令国家の形成	・律令国家への道 ・平城京の時代(律令国家の文化) ・律令国家の変容	10	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・律令制度に基づく国家の枠組みや、制度を機能させるための国家のあり方について考察し表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
6	第4章 貴族政治の展開 第5章 院政と武士の躍進	・摂関政治(国風文化) ・地方政治の展開と武士 ・院政の始まり ・院政と平氏政権	10	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・貴族政治における摂関・関白の意義と、地方支配のあり方の変化を考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・院政の開始と武士の台頭について関連付けて考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
	第6章 武家政権の成立	・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・モンゴル襲来と幕府の衰退(鎌倉文化)	8	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・貴族政権の成長過程と全国展開について、社会に与えた影響を考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
8	第7章 武士社会の成長	・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭(室町文化) ・戦国大名の登場	6	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・南北朝の動乱から始まる武士のあり方の変化について考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
9	第8章 近世の幕開け 第9章 幕藩体制の成立と展開	・織豊政権(桃山文化) ・幕藩体制の成立 ・幕藩体制の構造 ・幕政の安定 ・経済の発展(元禄文化)	12	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・世界やアジアとの交流が武士・百姓・町人にどのような変化を与えたか考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・徳川政権の権力機構や外交秩序、国内の生産・経済活動について考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
	第10章 幕藩体制の動揺	・幕政の改革(宝暦・天明期の文化) ・幕府の衰退と近代への道(化政文化)	10	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・長期にわたる幕藩体制が生み出した矛盾と、諸改革の意義について考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
11	第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立	・開国と幕末の動乱 ・幕府の滅亡と新政府の発足 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立	12	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・欧米諸国のアジア進出に対する徳川幕府の政治体制の変化について考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・明治政府の政策・改革が国際関係や社会にどのような変化をもたらしたか考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
	第13章 近代国家の展開 第14章 近代の産業と生活	・日清・日露戦争と国際関係 ・第一次世界大戦と日本 ・フントン体制 ・近代産業の発展(近代文化の発達) (市民生活の変容と大衆文化)	10	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・国内政治の安定と不平等条約の改正などを通して、日本のあり方や国際関係はどのように変化していったか考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・西洋の技術や文化の導入によって、社会がどのように変わっていったか考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
1	第15章 恐慌と第二次世界大戦	・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	6	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・国際協調の崩壊と軍部の台頭によって、戦争の道に進んでいった過程を考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
2	第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代	・占領と改革 ・冷静の開始と講和 ・55年体制 ・経済復興から高度経済成長へ	7	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・戦後、アメリカによる占領下で実施された諸改革と、冷戦体制による政策転換について考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・55年体制における国内外政治の展開と、高度経済成長を可能にした諸条件について考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
	第18章 激動する世界と日本	・経済大国への道 ・冷戦の終結と日本社会の変容	6	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・冷戦構造の崩壊と世界のグローバル化により、日本がどのような課題に直面しているかを考察し、表現することができる【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
地理歴史	世界史探究	3単位	2		
教科書	詳説 世界史				
副教材等					
① 科目の目標(学習指導要領)					
① 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的條件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に ② 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に ③ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民とし					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
世界の歴史についての基本的な事柄を地理的條件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけているか。また、歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができるか。	世界の歴史から課題や意義を見出し、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、そうした考察の結果を適切に表現しているか。	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲をもって追求するとともに、国際社会に主体的に生き、社会を形成する市民として自覚を持って責務を果たそうとする意識を持っているか。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	学習内容を十分に理解し、意欲的に課題に取り組むことができる。	学習内容の基礎・基本となる点を理解し、教師等他者の指導のもと、課題に取り組むことができる。	学習内容の基礎・基本となる点を十分理解できず、課題への取り組みも消極的である。
②思考力 表現力	学習内容に関して、多面的・多角的に考察したり課題解決に向けて構想したことを、自らの言葉で効果的にまとめ、表現することができる。	学習内容に関して、考察・構想したことを自らの言葉でまとめ、表現することができる。	学習内容に関する自らの意見を考察し、表現することができない。
③学びに向かう力	ワークシートを実施する際に工夫の跡が見られ、発問やグループワークの際に建設的な意見を述べている。	ワークシート・グループワークに意欲的に取り組み発問に答えようとしている。	ワークシート・グループワークに意欲的に取り組むことができず、発問に対して消極的である。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4月 5月 6月 7月 8月	諸地域の歴史的特質の形成	文明の成立と古代文明の特質 中央ユーラシアと東アジア世界 南アジア世界と東南アジア世界の展開 西アジアと地中海周辺の国家形成 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	45	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・「問い」に対して自らの言葉でその答えを導き出し、まとめることができるか【思考力・表現力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか(思考力・表現力) ・資料をもとに、世界各地の古代史の特徴を捉えることができるか(知識・技能) ・各地の古代史と西アジア・ヨーロッパの中世に関する学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
9月 10月 11月	諸地域の交流・再編	イスラーム教の伝播と西アジアの動向 ヨーロッパ世界の変容と展開 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 大交易・大交流の時代 アジア書帝国の繁栄	35	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・「問い」に対して自らの言葉でその答えを導き出し、まとめることができるか【思考力・表現力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか(思考力・表現力) ・資料をもとに、各地の中世の様子を捉えることができるか(知識・技能) ・各地の中世から近世に関する学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
12月 1月 2月 3月	諸地域の結合・変容	近世ヨーロッパ世界の動向 産業革命と環大西洋革命 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	25	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・「問い」に対して自らの言葉でその答えを導き出し、まとめることができるか【思考力・表現力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか(思考力・表現力) ・資料をもとに、近世から近代初期の世界の様子を捉えることができるか(知識・技能) ・各地の近世から近代初期に関する学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
公民	政治・経済	3単位	3	D1・D2・D3	
教科書	高等学校 政治・経済(第一学習社)				
副教材等	最新政治・経済資料集2024(第一学習社)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
現代の日本政治や国際政治の仕組みや課題について深く理解しており、諸資料から様々な情報を得て適切に判断することができる。	現代の日本政治や国際政治の仕組みや課題について深く考え、文章や資料等で分かりやすく表現することができる。	現代の日本政治や国際政治の仕組みや課題について自ら追求しようとする意識を持ち、授業や課題に取り組んでいる。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	学習内容を十分に理解し、適切な判断ができている。	学習内容の基礎・基本となる点を理解し、教師等他者の指導のもと、判断ができている。	学習内容の基礎・基本となる点を十分理解できず、適切な判断もできない。
②思考力 表現力	学習内容に関して、多面的・多角的に考察したり課題解決に向けて構想したことを、自らの言葉で効果的にまとめ、文章や資料で表現することができる。	学習内容に関して、考察・構想したことを自らの言葉でまとめ、文章や資料で表現することができる。	学習内容に関する自らの意見を考察し、文章や資料で表現することができない。
③学びに向かう力	ワークシートや課題を実施する際に工夫の跡が見られ、ペアワーク・グループワーク時に建設的な意見を述べている。	ワークシートや課題・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組んでいる。	ワークシートや課題・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組むことができない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4月 5月 6月 7月 8月 9月	現代日本の政治・経済 〔政治分野〕	政治と法の意義と機能 法の支配と立憲主義 基本的人権の保障と日本国憲法 現代社会における新しい人権 議会制民主主義と世界の政治体制 国会の組織と立法 内閣の組織と行政 裁判所の機能と司法制度 地方自治と住民の選挙 政党政治と選挙	50	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができているか【知識・技能】 ・授業内容についての基本知識が身についているか【知識・技能】
10月 11月	現代の国際政治・経済 〔政治分野〕	国際社会の変遷 国際法の意義 国際機構の役割 国際紛争と軍縮への取り組み	15	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができているか【知識・技能】 ・授業内容についての基本知識が身についているか【知識・技能】
11月 12月	現代の国際政治・経済 〔経済分野〕	貿易の現状と意義 国際経済と国際収支 為替相場の変動 国際協調と国際経済機関の役割 国際経済における日本の地位と国際協力	25	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができているか【知識・技能】 ・授業内容についての基本知識が身についているか【知識・技能】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
公民	倫理	3単位	3	D3	
教科書	詳述倫理(実教出版)				
副教材等	アプローチ倫理資料集PLUS 2024(東京法令出版)				

① 科目の目標(学習指導要領)
 人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
<ul style="list-style-type: none"> ・西洋と日本の思想についての基本的な事柄を理解し、現代の諸課題と関連付けながら、その知識を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題から思想を見出し、文化の多様性と現代社会の特質を倫理的な視野に立って多面的・多角的に考察しようとしているか。また国際社会の変化を踏まえ、公正に判断し、考察した過程や結果を適切に表現しようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代に生きる自己の課題と、人間としての生き方と社会のあり方について関心を持ち、意欲的に追求しようとしているか。
<ul style="list-style-type: none"> ・西洋と日本の思想についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して倫理的事象を追究する方法を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の人々の生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題等への取り組み状況、提出物の提出状況や内容。ペアワークやグループワーク等への参加に対する状況。
<ul style="list-style-type: none"> ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解できているか。 ・地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることを理解できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題等への取り組み状況、提出物の提出状況や内容。ペアワークやグループワーク等への参加に対する状況。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	学習内容を十分に理解し、意欲的に課題に取り組むことができる。	学習内容の基本事項が身についている。	学習内容の基本事項が身につけていない。
②思考力 表現力	学習内容に関して、多面的・多角的に考察したり課題解決に向けて構想したことを、自らの言葉で効果的にまとめ、表現することができる。	学習内容について、自らの意見について考察し、表現できている。	学習内容に関する自らの意見を考察し、表現できない。
③学びに向かう力	ワークシートを実施する際に工夫の跡が見られ、ペアワーク・グループワーク時に建設的な意見を述べている。	ワークシート・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組んでいる。	ワークシート・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組むことができない。

年間指導計画および各観点評価のポイント(規準)

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4月 5月 6月	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の興議と課題 ・ギリシア思想 ・キリスト教 ・イスラーム ・仏教 ・中国思想 	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の意義と課題 ・ギリシア思想(ソクラテス・プラトン・アリストテレス) ・キリスト教(古代ユダヤ教・イエス) ・イスラーム ・仏教(ブッダ) ・中国思想(儒家・老荘) 	30	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・青年期の意義と課題について、現状を捉えながら自らの考えをまとめ、表現できているか【思考力・表現力】 ・ギリシア思想やキリスト教思想について自分なりの考えをまとめ、表現できているか【思考力・表現力】 ・仏教や中国思想について正しい知識を身につけることができたか【知識・技能】
7月 8月 9月	<ul style="list-style-type: none"> ・古代日本人の思想 ・日本の仏教思想 ・近世日本の思想 ・西洋思想の受容と展開 ・人間の尊厳 ・科学・技術と人間 ・民主社会と自由の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・古代日本人の思想 ・日本の仏教思想 ・近世日本の思想 ・西洋思想の受容と展開 ・人間の尊厳(ルネサンス・宗教改革・モラリスト) ・科学・技術と人間(近代の自然観) ・民主社会と自由の実現(カント・ヘーゲル) 	30	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・古代の日本人の思想や日本の仏教思想について自分なりに考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・様々な宗教や文化の違いについて捉えながら、共生するための方策について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・近世の日本思想や西洋思想の受容と展開について資料をもとに、その諸課題について捉えることができるか【知識・技能】 ・各学習内容の基本知識が身につけているか【知識・技能】
10月 11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・社会と個人 ・人間への新たな問い ・社会参加と幸福 ・現代の諸課題と倫理(テーマ学習) 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会と個人(功利主義・社会主義) ・人間への新たな問い ・社会参加と幸福(生命への畏敬と非暴力の思想) ・現代の諸課題と倫理(生命・環境・家族・地域社会・文化・宗教・国際平和と人類の福祉) 	30	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・現代の倫理的な諸課題について自分なりに考察し、表現することができるか【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身につけているか【知識・技能】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
地理歴史	応用地理	2単位	3	C・E2	
教科書	新詳地理探究(帝国書院)				
副教材等	高等地図帳(二宮書店)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けているか。 地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取った図表などにまとめたりしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的事象から課題を見出し、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとしているか。
<ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の特色ある生活文化が多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解できているか。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題等への取り組み状況、提出物の提出状況や内容。 ペアワークやグループワーク等への参加に対する状況。
<ul style="list-style-type: none"> 地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観理解できているか。 地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることを理解できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題等への取り組み状況、提出物の提出状況や内容。 ペアワークやグループワーク等への参加に対する状況。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	資料や統計をしっかりと読み取った上で、学習内容の基本知識がしっかり身についている。	学習内容の基本事項が身についている。	学習内容の基本事項が身につけていない。
②思考力 表現力	学習内容について、現状を捉えながら建設的な意見をしっかりと考察し、表現できている。	学習内容について、自らの意見について考察し、表現できている。	学習内容に関する自らの意見を考察し、表現できない。
③学びに向かう力	ワークシートを実施する際に工夫の跡が見られ、ペアワーク・グループワーク時に建設的な意見を述べている。	ワークシート・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組んでいる。	ワークシート・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組むことができない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4月 5月 6月	現代世界の系統地理的考察 ・交通・通信と観光、貿易 ・人口・通信と観光、貿易 ・人口、村落・都市 ・生活文化、民族・宗教	<ul style="list-style-type: none"> 交通・通信、観光 貿易と経済圏 人口と人口問題 村落と都市 都市・居住問題 衣食住 民族・宗教と民族問題 国家の領域と領土問題 	20	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 世界の諸地域における地理的状況についての確に考察し、その問題点について自分なりに表現できているか【思考力・表現力】 様々な地球的課題とその対策について考察し、表現できている【思考力・表現力】 資料や統計をもとに、様々な地球的課題の現状について捉えることができるか【知識・技能】 各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
7月 8月 9月	現代世界の地誌的考察 ・現代世界の地域区分	<ul style="list-style-type: none"> 地域区分 東アジア 東南アジア 南アジア 西アジアと中央アジア 北アフリカとサハラ以南のアフリカ ヨーロッパ ロシア 	20	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 世界の諸地域における地理的状況についての確に考察し、その問題点について自分なりに表現できているか【思考力・表現力】 様々な地球的課題とその対策について考察し、表現できている【思考力・表現力】 資料や統計をもとに、様々な地球的課題の現状について捉えることができるか【知識・技能】 各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
10月 11月 12月	現代世界の諸地域(アンゴラ・アメリカ・ラテンアメリカ・オセアニア) 現代世界におけるこれからの日本の国土像 ・持続可能な国土像の探究	<ul style="list-style-type: none"> アンゴラ・アメリカ ラテンアメリカ オセアニア 現代世界と日本 	20	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 様々な地球的課題とその対策について考察し、表現できている【思考力・表現力】 現代世界の諸問題や日本の諸問題について、現状を捉えながら自らの考えをまとめ、表現できているか【思考力・表現力】 資料や統計をもとに、様々な地球的課題の現状について捉えることができるか【知識・技能】 各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
地理歴史	応用日本史	2単位	3年次	E2 E5	
教科書	詳説日本史 改訂版(81山川 日探705)				
副教材等	日本史のライブラリー(東京法令出版)				
① 科目の目標(学習指導要領) 我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
我が国の歴史について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視点から捉えて深く理解しており、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	我が国の歴史の諸事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察したり、歴史上の課題を把握し解決に向けて構想したり、考察・構想したことを様々な方法で効果的に説明したり、それらを元に議論したりしている。	我が国の歴史の諸事象について、未来を担う者としての自覚を持ち、よりよい社会の実現のために課題を主体的に追究・解決しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	我が国の歴史に関する基礎的・基本的な知識を十分身につけており、且つ、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめる技能も十分身につけている。	我が国の歴史に関する基礎的・基本的な知識を概ね身につけており、且つ、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめる技能も概ね身につけている。	我が国の歴史に関する基礎的・基本的な知識及び諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめる技能をほとんど身につけていない。
②思考力 表現力	歴史の諸事象について多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決に向けて構想したり、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを元に議論したりしている力を十分身につけている。	歴史の諸事象について多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決に向けて構想したり、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを元に議論したりしている力を概ね身につけている。	歴史の諸事象について多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決に向けて構想したり、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを元に議論したりしている力をほとんど身につけていない。
③学びに向かう力	グループワークやペアワーク、発表などへの取り組み方が積極的に、課題を主体的に追究・解決しようとする姿勢が十分に見られる。課題をきちんと提出している。	グループワークやペアワーク、発表などに取り組み、課題を主体的に追究・解決しようとする姿勢が概ね見られる。課題をきちんと提出している。	グループワークやペアワーク、発表などへの取り組み方が消極的で、課題を主体的に追究・解決しようとする姿勢がほとんど見られない。課題の提出がきちんとされていない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4 5 6	近世から近代へ	開国と幕末の動乱	20	○	○	○	基礎的・基本的な事項を身につけている【知識・技能】 ワークシート・レポートなどにおいて、考察・構想したことを効果的に説明している。【思考力 表現力】 グループワークやペアワーク、発表へ積極的に取り組んでいる。【学びに向かう力】 課題をきちんと提出している【学びに向かう力】
	近代国家の成立	幕府の滅亡と新政府の発足					
	近代国家の展開	明治維新と富国強兵 立憲国家の成立 日清・日露戦争と国際関係 第一次世界大戦と日本 ワシントン体制					
	近代の産業と生活	近代産業の発展 近代文化の発達 市民生活の変容と大衆文化					
	恐慌と第二次世界大戦	恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦					
	占領下の日本	占領と改革 冷戦の開始と講話					
7 8 9 10 11 12	高度成長の時代	55年体制 経済復興から高度成長へ	35	○	○	○	基礎的・基本的な事項を身につけている【知識・技能】 ワークシート・レポートなどにおいて、考察・構想したことを効果的に説明している。【思考力 表現力】 グループワークやペアワーク、発表へ積極的に取り組んでいる。【学びに向かう力】 課題をきちんと提出している【学びに向かう力】
	激動する世界と日本	経済大国への道 冷戦の終結と日本社会の変容					
	共通テスト対策	二次対策					
1 2 3	二次対策 ※需要があれば実施する	二次対策	5				

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
地理歴史	応用世界史	2単位	3	E2・C	
教科書	詳説 世界史(山川出版社)				
副教材等					
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。 (2)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけているか。また、歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができるか。	世界の歴史から課題や意義を見出し、文化の多様性・複合性や現代世界の特徴を多面的・多角的に考察し、そうした考察の結果を適切に表現しているか。	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲をもって追求するとともに、国際社会に主体的に生き、社会を形成する市民として自覚を持って責務を果たそうとする意識をもっているか。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	学習内容を十分に理解し、意欲的に課題に取り組むことができる。	学習内容の基礎・基本となる点を理解し、教師等他者の指導のもと、課題に取り組むことができる	学習内容の基礎・基本となる点を十分理解できず、課題への取り組みも消極的である。
②思考力 表現力	学習内容に関して、多面的・多角的に考察したり課題解決に向けて構想したことを、自らの言葉で効果的にまとめ、表現することができる。	学習内容に関して、考察・構想したことを自らの言葉でまとめ、表現することができる。	学習内容に関する自らの意見を考察し、表現することができない。
③学びに向かう力	ワークシートを実施する際に工夫の跡が見られ、発問やグループワークの際に建設的な意見を述べている。	ワークシート・グループワークに意欲的に取り組み発問に答えようとしている。	ワークシート・グループワークに意欲的に取り組むことができず、発問に対して消極的である。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4月 5月 6月 7月 8月	諸地域の結合・変容	産業革命と環大西洋革命 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 アジア諸地域の動揺	25	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・「問い」に対して自らの言葉でその答えを導き出し、まとめることができるか【思考力・表現力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか(思考力・表現力) ・資料をもとに、世界各地の古代史の特徴を捉えることができるか(知識・技能) ・各地の古代史と西アジア・ヨーロッパの中世に関する学習内容の基本知識が身につけているか【知識・技能】
9月 10月 11月	諸地域の結合・変容	帝国主義とアジアの民族運動 第一次世界大戦と世界の変容 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	25	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・「問い」に対して自らの言葉でその答えを導き出し、まとめることができるか【思考力・表現力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか(思考力・表現力) ・資料をもとに、各地の中世の様子を捉えることができるか(知識・技能) ・各地の中世から近世に関する学習内容の基本知識が身につけているか【知識・技能】
12月 1月	地球世界の課題	冷戦と第三世界の台頭 冷戦の終結と今日の世界	10	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・「問い」に対して自らの言葉でその答えを導き出し、まとめることができるか【思考力・表現力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか(思考力・表現力) ・資料をもとに、近世から近代初期の世界の様子を捉えることができるか(知識・技能) ・各地の近世から近代初期に関する学習内容の基本知識が身につけているか【知識・技能】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
公民	政治・経済	2単位	3年次	E2、E5、C	
教科書	高等学校 政治・経済(第一学習社)				
副教材等	最新政治・経済資料集2024(第一学習社)				
科目の目標(学習指導要領)					
・社会の諸課題を探究するための概念や理論を理解し、社会の在り方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付ける。 ・現実社会に見られる課題を把握し、公正に判断して社会参画に向かう力を養う。					

評価の観点

①②知識・理解および技能	③思考力・判断力・表現力	④関心・意欲・態度(学習に向かう力)
・現代の政治・経済・国際関係について広く知識を習得し、理解を深める。 ・様々な社会的事実を通して、民主主義の本質について理解する。	・現代社会の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力と良識ある公民として必要な能力・態度を育てる。 ・自己の考察や分析を文章・説明などによって表現することができる。	・課題などへの取り組み状況 ・提出物の提出状況とその内容 ・グループワークなどへの参加状況

上記の観点を以下の基準で評価します。(達成率に基づき3段階に評価。成績は5段階評定)

	評価Aとなること(達成率80%以上)	評価Bとなること(達成率45%以上)	評価Cとなること(達成率45%未満)
①②知識・理解・技能	学習内容について資料などを読み取り、学習内容の基本知識が十分に身についている。	学習内容について基本事項が概ね身についている。	学習内容の基本事項が身につけていない。
③思考力・判断力・表現力	学習内容について、現状を客観的に捉えながら建設的に考察し、表現することができる。	学習内容について、自ら考察し表現することができる。	学習内容について、考察・表現することができない。
④関心・意欲・態度	ノートやワークシートの取り組みに工夫の跡が見られ、ペアワーク・グループワークに積極的に参加している。	授業内の諸活動に意欲的に取り組んでいる。	授業に対して参加する意欲がない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4	第3節 市場経済の機能と限界	1経済活動と市場	4	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・経済活動と市場機能について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
5		2経済主体と経済循環 3国民経済の大きさや経済成長	7	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・経済循環について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・国民経済と経済成長について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
6		4物価と景気動向 5市場の失敗と公害・消費者問題	8	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・物価と景気動向について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・市場の失敗について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
7	第4節 持続可能な財政および租税のあり方	1財政のしくみと租税の意義	5	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・財政のしくみについて考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
8	第5節 金融を通じた経済活動の活性化	1金融の仕組みとはたらき	5	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・金融の仕組みとはたらきについて考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
9	第6節 経済活動と福祉の向上	1日本経済の変化と中小企業 2労使関係と労働問題 3社会保障制度と福祉のあり方	7	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・日本経済の変化と特徴について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・労使関係と労働問題について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・社会保障制度と福祉のあり方について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
10	第2編 第3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質	1貿易の現状と意義 2国民経済と国際収支	7	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・貿易の現状と意義について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・国民経済と国際収支について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
11		3為替相場の変動 4国際協調と国際経済機関の役割	8	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・為替相場の変動について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・国際協調と国際経済機関の役割について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
12	第4節 国際経済において求められる日本の役割	1国際経済における日本の地位と国際協力	5	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・国際経済における日本の地位と国際協力のあり方について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・日本の産業構造の変化について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
1	第2章 国際社会の諸課題の探求	1グローバル化にともなう人々の生活や社会の変容	4	○	○	○	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学習に向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学習に向かう力】

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
公民	応用公共	2単位	3	E2・C	
教科書	公共(実教出版)				
副教材等	なし				
① 科目の目標(学習指導要領)					
人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
現代経済の仕組みや日本経済及び国民生活の課題について深く理解しており、諸資料から様々な情報を得て適切に判断することができる。	現代経済の仕組みや日本経済及び国民生活の課題について深く考え、文章や資料等で分かりやすく表現することができる。	現代経済の仕組みや日本経済及び国民生活の課題について自ら追求しようとする意識を持ち、授業や課題に取り組んでいる。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	学習内容を十分に理解し、適切な判断ができています。	学習内容の基礎・基本となる点を理解し、教師等他者の指導のもと、判断ができています。	学習内容の基礎・基本となる点を十分理解できず、適切な判断もできない。
②思考力 表現力	学習内容に関して、多面的・多角的に考察したり課題解決に向けて構想したことを、自らの言葉で効果的にまとめ、文章や資料で表現することができます。	学習内容に関して、考察・構想したことを自らの言葉でまとめ、文章や資料で表現することができます。	学習内容に関する自らの意見を考察し、文章や資料で表現することができない。
③学びに向かう力	ワークシートや課題を実施する際に工夫の跡が見られ、ペアワーク・グループワーク時に建設的な意見を述べています。	ワークシートや課題・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組んでいる。	ワークシートや課題・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組むことができない。

年間指導計画および各観点評価のポイント

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4月 5月 6月 7月	現代の経済社会	経済主体と経済活動の意義 経済社会の変容 市場の仕組み 市場の失敗 現代の企業 国民所得 経済成長と国民の福祉 金融の役割 日本銀行の役割 財政の役割と課題	24	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができていますか【知識・技能】 ・現代の経済社会についての基本知識が身についているか【知識・技能】
8月 9月 10月 11月	日本経済の特質と国民生活	戦後日本経済の成長と課題 転機に立つ日本経済 経済社会の変化と中小企業 農業と食料問題 消費者問題 公害の防止と環境保全 労働問題と労働者の権利 こんにちの労働問題 社会保障の役割 社会保障制度の課題	26	○	○	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができていますか【知識・技能】 ・日本経済の特質と国民生活についての基本知識が身についているか【知識・技能】
12月 1月	問題演習	共通テストに向けた問題演習と解説 私大受験に向けた問題演習と解説	10	○	○	○	・問題演習に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・思考判断を問う問題に取り組んでいるか【思考力・表現力】 ・知識理解を問う問題に取り組んでいるか【知識・技能】